

表敬訪問 鬼怒川での水辺の環境美化活動などへの感謝状が贈られた小学生たちと
訪問 全日本中学女子軟式野球大会で優勝した中学生が表敬訪問に訪れました

第4回全日本中学女子軟式野球大会優勝



千代川中学校 野球部 3年 荒川 凜

あらか りん
 荒川さんは、千代川中学校の野球部に所属しながら、女子中学生軟式野球チームIGオール茨城女子に参加。8月23日～28日に京都府で開催された第4回全日本中学女子軟式野球大会で優勝を飾りました。ポジションはセンター、打順は1番。「試合を重ねることに自分たちの野球ができるようになりました。高校では、女子の硬式野球をやって、女子プロ野球選手を目指します」

令和元年度河川愛護団体感謝状



大形小学校「花と一万人の会ジュニアスタッフ」

河川の大切さ、楽しさ、怖さなど河川に関する理解と関心を深める活動や川とのつながりの中で地域活動の活性化や地域環境美化、子どもへの教育環境など地域に貢献し、他の模範となる活動団体へ表彰する国土交通省関東地方整備局下館河川事務所主催の「令和元年度河川愛護団体の表彰式」において、大形小児童で組織する「花と一万人の会ジュニアスタッフ」が下館河川事務所長から感謝状を受賞。




189 (いち はやく) ちいさな命に待たなし

児童虐待は社会全体で解決すべき問題です。あなたの1本のお電話で救われる子どもがいます。
 児童相談所や市町村の相談窓口にご連絡下さい

「しつけ」が行き過ぎると虐待に当たることもあります
子どもを健やかに育てるために
 ～愛の鞭ゼロ作戦～

子育てにおいて、しつけと称して、叩いたり怒鳴ったりすることは、子どもの成長の助けにならないばかりか、悪影響を及ぼしてしまう可能性があります。以下のポイントを心がけながら、子どもに向き合しましょう。

※子育てに 体罰や暴言を使わない	子どもが親に 恐怖を持つとSOSを 伝えられない	爆発寸前のイライラを クールダウン
親自身が SOSを出そう	子どもの気持ちと 行動を分けて考え、 育ちを応援	

※令和2年4月1日より、児童虐待の防止等に関する法律が改正されることにより、親権者が子どものしつけに際して体罰を加えてはならないことが明文化されます。

あなたの1本のお電話で救われる子どもがいます。
189 児童虐待かもと思ったらすぐにお電話ください。
 お住まいの地域の児童相談所につながります。
 ※一部のIP電話からはつながりません。※令和元年12月より通話料が無料化されます。

有料広告欄

健康増進 問 保健センター ☎43-1990 FAX44-9744

「良い睡眠で健康に」講演会を開催

10月6日、市は市立図書館で、「良い睡眠で健康に」講演会を開催し、市民など約90人が参加しました。講演会では、江戸川大学社会学部人間心理学科の山本隆一郎准教授による「良い睡眠」についての講演があり、朝から活動的な毎を送るための「良い睡眠」についての話がありました。

山本准教授は「良い睡眠は、心身の健康に重要で、量・規則性・質の確保も大切。毎日、同じ時刻に布団に入る努力をしてみましょう」と話していました。講話の後には、山本准教授から睡眠に向けた軽い健康体操の指導があり、参加者たちは体を動かしながら「良い睡眠」について学んでいました。



良い睡眠は量・規則性・質の確保が重要と話す山本准教授

支援体制の確立 問 企画課 ☎43-2113 FAX43-1960

**株式会社ディーエイチシーと
包括連携協定締結**



協定を締結した竹内ゆかり・DHC 販売促進部長(左)と菊池市長(右)

10月25日、市では市民の健康づくりの推進を図るとともに、さらなる地域産業の活性化を目的に、株式会社ディーエイチシーと包括連携協定を締結しました。協定は、DHCの知識や知恵、ノウハウを活用し、官民連携した事業を行うことにより、市民の健康保持や地域産業の活性化に役立てるものです。今年度は、11月6日にDHC所属の医師を招き、「脂質異常症」に関する講演会を開催。今後は、健康や介護分野での連携のほか、地元特産品を活用した商品開発なども視野に入れていきます。

DHCと市との包括連携協定締結は、全国で21番目、県内では、境町、守谷市、行方市に次いで4番目となります。

ほっとしポ・ライン
 Hot Repo Line 市民の声

アメリカ・サンディエゴに住む妹さんから「日本食スーパーで『下妻の梨』を発見。家族で日本の味覚を堪能した」との喜びのメールが届いた山口政志さん(下妻乙・峰)からのお便りを紹介します。

「日本食スーパーで『下妻の梨』が販売されていて、2日間で完売の大人気だったよ」とアメリカ・サンディエゴに住む妹から母の携帯にメール届いたのが9月25日。下妻の梨を抱えた甥っ子ジェイク(5歳)のうれしそうなお顔の写真が添えられていました。




下妻の梨を販売していたサンディエゴの日本食スーパー(外観)

**「下妻の梨」をサンディエゴで発見!
アメリカでも大人気!**

下妻で生まれ育った僕たち兄妹。妹は留学を機にアメリカに移り住んで18年になりますが、アメリカで下妻のものが直接買えたことがとてもうれしかったようでした。下妻の梨は日本円で2個800円。4個購入し、家族みんなで食べて「とってもおいしかった」とのことでした。

この話を市役所に勤める友人にしたところ、「多くのハードルをクリアして、今年からアメリカにも輸出できるようになったんだ。梨農家さんやJAさんの頑張りはスゴイよ」と聞きました。下妻の梨と言えば、おいしい秋の味覚として僕たちは食べ慣れたものですが、これが日本だけでなく海外でも評価されるということはとてもうれしく、下妻の誇りだと思いました。



下妻の梨を抱える山口さんの甥っ子・ジェイクくん(サンディエゴの自宅前で)